

在宅医療・介護連携推進事業の取り組み状況

(ア) 地域の医療・介護サービス資源の把握

- ・ **現在、公開されている医療・介護事業所の情報を集約し、リストを作成しました。**

作成に当たっては、医師会のご協力のもと医療機関にアンケートを実施し、以前から専門職による要望のあった連携窓口等(ケアマネタイム)をリストに追加することができました。

とまこまい医療介護連携センターのホームページ「医療・介護事業所一覧」のメニューに公開しましたのでご利用ください。

この情報は、資源情報ワーキンググループ（以下「WG」という。）での協議を踏まえ今後内容の充実を図っていく予定です。

- ・ **第1回 資源情報ワーキングを2017年9月26日（火）に開催しました。**

市内の医療・介護資源の情報を集約したリストを作成し、連携センターのホームページに公開することで、専門職を含む全ての市民が医療・介護資源を把握できるようにすることを目的として開催しています。

12月までに3回実施し、次回は3月に開催予定です。

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

苫小牧市は2015年度に住民団体や医療介護福祉関係団体等全24団体から推薦された委員による“地域ケア推進会議”を組織しています。2017年7月の地域ケア推進会議で委員に対して行った在宅医療と介護連携に関するアンケート結果の報告と、課題への対策のために地域ケア推進会議の下に2つの作業部会（資源情報WG、情報共有ツール及び連携ルールWG）を設置することになりました。

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

2017年6月、苫小牧市医師会が在宅医療推進委員会を設置し、在宅医療支援体制構築に向けて協議されています。

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

2017年下旬に情報共有ツール及び連携ルールWGを設置し検討する予定です。

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

2017年4月に医療介護連携に関する相談支援の拠点として「とまこまい医療介護連携センター」を開設しています。

(カ) 医療・介護関係者の研修

推進事業における多職種研修検討会を2017年3月と5月に開催。地域の職能団体等の研修開催状況と今年度企画予定を報告し、多職種連携研修の現状と課題等について意見交換を行いました。